

【家庭教育支援チーム】

チーム名 (呼称)	<p>村上市家庭教育支援チーム</p> <p>(呼称： 村上 ohana ネット、NPO 法人おたすけさんぽく、NPO 法人ココスタ、フリースクール水野谷塾、ふくちゃ部、放課後等デイサービスおひさま 合同チーム)</p> <p>URL: 村上市家庭教育支援チーム https://murakami-kateikyouiku.jimdosite.com/</p> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・村上 ohana ネット https://murakamiohananet.jimdo.com/ https://www.facebook.com/murakamiohananet/ ・NPO 法人ココスタ https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/015000810 ・NPO 法人 おたすけさんぽく http://otasuke-sanpoku.org/ ・フリースクール水野谷塾 https://mizunoyajuku.jimdofree.com https://www.facebook.com/mizunoyajyuku/ ・ふくちゃ部 https://hukutyabu.amebaownd.com ・放課後等デイサービスおひさま https://yn-au.co.jp </div>
活動開始年度	平成 30 年度(合同チームとしての開始年度)
活動拠点	村上市生涯学習推進センター(村上地区公民館)
活動範囲	新潟県下越地域全域
活動財源	<input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(地域における家庭教育支援基盤構築事業) <input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業() <input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名) <input type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 (合同チームとしての活動のみ上記補助事業を活用)
組織体制	<p style="text-align: center;">39 人</p> <p>子育てサポーター、ボランティア 20 名、元教員 5 名、現教員 1 名 元看護師兼カウンセラー 1 名、元保育士兼カウンセラー 1 名 元教員兼民生児童委員 2 名、元保育士、幼稚園教諭 4 名 保健師兼産業カウンセラー兼 THP 登録指導者 1 名、管理栄養士 1 名 保護司 1 名、施設指導員 2 名</p>

具体的な活動内容

講座型 拠点型 訪問型 総合型 その他()

【活動内容】

各団体の活動内容は異なり、多岐にわたる。しかし、それぞれが共通して子どもや若者及びその家族に対する支援活動を行っている。子育てや、保護者自身の心身の不安の相談、不登校や引きこもり当事者の居場所や学習機会の提供、親サロンなどの保護者の交流の場、つながり作り、発達に障害を持つ子どもの支援とペアレントトレーニングなどの保護者の育児への具体的な働きかけの学習機会提供、パパカフェ、ママカフェなどの親子の交流の場、地域の遊びの広場開催、母親のエクササイズ教室やメンタルトレーニングなどの心身両面からのアプローチ講座、行政と連携したパパスクールなどの父親支援活動などを行っている。また村上 ohana ネットでは、合同チーム以外でも、村上や周辺地域で活動する子育て支援団体の活動や行政で行う活動情報を随時発信して情報を提供し、子育て世代に役立ててもらうだけでなく、そのほかの世代にも子育てに関心を持ってもらう活動を行っている。

合同チームでは定期的にミーティングを行い、お互いの情報交換をし、また、定期的に行政の関係課との情報交換や合同で行える活動の相談などを行っている。

この度、合同チームに「放課後等デイサービスおひさま」が新たに加わり、支援者が増えることで、不登校児童生徒の学習支援、発達や心身に障害を抱える子を持つ保護者の交流や教育相談など、これまでも合同チームで取り組んできた学習機会の提供や相談対応等の活動をより継続、充実させることができるようになった。



活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・行政と連携しての活動が増え、地域の方に各団体の活動が周知されることで、子どもたちの成長過程や子育ての中で困難を抱えた時に、必要な支援を受けられる場や団体につながりやすくなった。また保護者からも、こうした団体が地域にあることが分かり、安心して子育てできる、といった声をもらっている。 ・様々な交流会やイベントを通して保護者同士のつながりが生まれ、そうした仲間で新たなサークルや活動団体が生まれたり、困難を自助しようとする動きや、自主的に地域を子育てしやすい環境にしようとする行動を始める動きが生まれている。
活動において苦労した点や課題	<ul style="list-style-type: none"> ・各団体ともに補助を財源としない自主的な運営体制のため、活動資金の確保と、活動に継続して参加してくれる人材確保に苦慮している。 ・子ども、若者支援において、行政や学校との連携強化を目指しているが、個人情報観点から、支援を必要とする本人および保護者の情報をそうした機関と共有することが難しい。連携の仕組み作りが課題であると感じる。
今後の活動目標	<ul style="list-style-type: none"> ・困難を有する子ども、若者支援については、当事者、保護者に必要な支援を、合同チーム内の支援を得意とする団体につなげ、情報を行政とも共有することを目指している。 ・妊婦検診などで妊娠期の保護者とつながりを持ち、その時点からの家庭教育支援を行いたい。また、妊娠期からの切れ目のない支援を目指し、子育ての段階や子ども、若者の年齢で区切られない、途切れない支援を行っていきたい。
問合せ先	<p>(部署・氏名等) 合同チーム代表、事務局 村上 ohana ネット 渡辺ひろみ</p> <p>(TEL)0254-52-6612 (E-mail)murakamiohananet@gmail.com</p>